

施策評価シート

| | | | | | |
|------|--------|--------|---------------------------|---------|-------------|
| 評価年度 | 平成24年度 | 事業実施年度 | 平成23年度 | 施策主管次長名 | 協働部次長 天野 達也 |
| 施策番号 | 71 | 施策名 | 誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進 | | |
| 関係課名 | 協働推進課 | | | | |

1. 施策の概要

| 施策の目的 | 対象 | 市民 | 対象指標名 | 単位 | H22実績 | H23実績 | H24計画 | H25見込 | H26見込 | H27見込 |
|-------|--------------------------------|----|-------|----|--------|------------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 人口 | 人 | 58,216 | 58,762 | 60,600 | 61,400 | 62,500 | 63,700 |
| 意図 | 地域活動を積極的に推進し、地域ぐるみでまちづくりに参加する。 | | | | 成果指標名 | 地区コミュニティ活動の参加者 | | | | |
| | | | | | 成果指標名 | 行政区活動の参加者 | | | | |
| | | | | | 成果指標名 | 市内に事務所を置くNPO法人の数 | | | | |

2. 成果指標

| 指標 | 成果指標名 | 単位 | H22実績 | H23計画 | H23実績 | H24計画 | H25見込 | H26見込 | H27見込 |
|----|------------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標 | 地区コミュニティ活動の参加者 | 人 | 4,458 | 4,500 | 6,153 | 6,500 | 7,000 | 7,500 | 8,000 |
| | 指標設定の考え方と把握方法 | 地域づくりの指標として、コミュニティ活動推進協議会が主催する活動への参加者を実績報告に基づき協働推進課で把握 | | | | | | | |
| 指標 | 行政区活動の参加者 | 人 | 27,695 | 28,000 | 27,920 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 28,000 |
| | 指標設定の考え方と把握方法 | 郷土・ふるさとづくりの指標として、25行政区が実施した地域ふるさと事業の参加者を実績報告書に基づき協働推進課で把握 | | | | | | | |
| 指標 | 市内に事務所を置くNPO法人の数 | 団体 | 5 | 6 | 7 | 8 | 8 | 9 | 9 |
| | 指標設定の考え方と把握方法 | 市内に事務所を置くNPO法人の数を県が公表している市町村別登録数で把握 | | | | | | | |
| 指標 | 成果指標名 | 単位 | H22実績 | H23計画 | H23実績 | H24計画 | H25見込 | H26見込 | H27見込 |
| 指標 | 指標設定の考え方と把握方法 | | | | | | | | |

3. 施策の評価

| 項目 | 評価のコメント | | | | |
|---|--|---|-----|----|------------------|
| 施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担 | 市民 | 理想的な地域社会形成のため、個人や地域ができることを、市民一人ひとりが考え実践し、積極的にまちづくりに参加する。 | | | |
| | 行政 | 市民一人ひとりが行なうことや地域社会（行政区・コミュニティ推進協議会）が行なうことに側面から支援する。また、ボランティア団体・NPO団体と協働してまちづくりを推進する。 | | | |
| 達成度評価 | 成果目標（指標計画値）と現状との比較 | 地区コミュニティ活動の参加者については、計画値を大幅に上回る結果となり、行政区活動の参加者は、計画値を若干下回った。NPO法人の数は計画値を1法人上回った。 | | | |
| | 近隣との比較 | 地区コミュニティ活動の参加者と行政区活動の参加者については、人口規模が違い比較困難である。NPO法人の数については、近隣市町と比較して少ないの現状である。 | | | |
| | 過去3年間の実績との比較 | 地区コミュニティ活動の参加者については、22年度に大幅にダウンしたために急増したが、まだ、平成21年度の実績を下回っている。その他の成果指標については、ほぼ横ばいである。 | | | |
| 【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など | ・市長のマニフェストにより、小学校区を基本としたコミュニティ地区の再編に取り組み、平成24年4月に、適正な人口規模の8コミュニティに再編が完了したことにより、今後コミュニティ活動の活性化が期待できる。 ・NPO法人数については、急増は望めないが徐々に増加してくると思われる。 | | | | |
| 【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど | ・行政区単位でなく、コミュニティ単位の活動でスケールメリットを生かした事業についての活動の支援に努める。 ・NPOに関する相談事業を毎月第2木曜日に開催し、協働のパートナーとしてのNPO設立の支援に努める。 | | | | |
| 市民意識 | 重要度 | 低い | 満足度 | 低い | 23年度市民アンケート調査による |